

第10回生活衛生関係営業の振興に関する検討会現地視察の概要について

1. 視察日時 平成23年10月20日(木) 15:00～16:30
2. 視察場所 東京都港区新橋
3. 参加者(敬称略)

(構成員)	井元 弘 構成員	梅田 次郎構成員	大澤 元毅構成員	
	谷本 義広構成員	富岡 香(池田構成員代理)		
	芳賀 康浩構成員	原田 一郎構成員	前野 春枝構成員	
	三根 卓司構成員	山岡 真弓構成員	(以上11名)	
(参考人)	大塚 健太郎(東京都喫茶飲食生活衛生同業組合愛宕支部支部長)			
	越村 良久(東京都食鳥肉販売業生衛組合理事相談役)			
(厚生労働省)	堀江 裕(健康局生活衛生課長)	ほか		

4. 現地視察の趣旨

地域に密着して営業をしている中小零細の生活衛生関係営業(以下、「生衛業」という。)が、まちの活性化や地域コミュニティの主体的担い手として取り組んでいる例や厳しい経営環境下にある実態などを視察(調査・研究)し、今後の生衛業の振興方策に係る議論に資することを目的とする。

5. 現地視察の概要

(1) 越村参考人による説明、意見交換(於:全国生衛会館)

「新橋こいち祭」などを中心に、地域活性化への取り組みと生衛業との関わり等の説明を受け、意見交換を行った。

○新橋こいち祭

新橋地区の町会・商店会の有志がボランティアで新橋地区の活性化を目指してはじまった。

港区における新橋をアピールできる住民参加性の高い祭りイベントを創出することで、地域の人々の交流し、粋な新橋らしさをアピールできしており、街に元気を呼び込んでいる。

イベントを地元の手で継続化し「新橋の風物詩」として、育てあげることが大切。

大手ビール会社やボウリング場協会などの協賛を得るなど、イベント運営の工夫も行っている。

○食鳥肉販売店(株式会社加賀屋)

高級・高品質な商品の設定や地産地消の食材を使用した商品の開発など、消費者の需要変化に応じた経営展開を行っている。

地域社会における行事等への積極的な参加や地域社会活動の一翼を担うことで、業種を超えた協力が推進され、地域の特色がつけられている。

(2) 営業施設訪問・説明

(財)全国生活衛生営業指導センターの安達主事が構成員を先導し、説明を行った。

①理容店



安達主事より、以下の説明を受けた。

- ・標準営業約款（Sマーク）登録店
- ・低価格や施術時間の短さを売りものにするチェーン店が出現するなか、価格を据え置き、確かな技術や衛生管理状況等により顧客から支持されている
- ・都心部のビジネス街という立地特性から、周辺で美容室は営業されていない

②冰雪販売業



安達主事より、以下の説明を受けた。

- ・銀座、六本木など都心部の飲食店に近接する立地特性を生かし、銀座周辺で最大規模の冰雪販売業
- ・純氷の形状、大きさ、配達時刻等顧客の要望が多様化するなか、機械化が進めにくい業態
- ・騒音対策として、作業時は店舗のシャッターを閉めるなど、地域との共生に向けた取り組みが行われている

③食鳥肉販売業



店内で、越村参考人より、以下の説明を受けた。

- ・食鳥肉は、国民の食卓に欠かせない食材であり、新鮮で良質な差別化された商品提供など、専門店としての独自性を発揮することにより、成功している
- ・優れた職人の技術に基づき商品提供が行われるよう適切な人材育成が図られている
- ・当日は「東京しゃも」の処理が行われていた

④喫茶店営業



安達主事より、以下の説明を受けた。

- ・ J R 新橋駅烏森口前に平成 21 年 4 月にオープンした全席 喫煙のカフェ
- ・ 「おいしいコーヒーとたばこを楽しむ」をコンセプトとして
- ・ 分煙対策が進むなか、新たな 分煙の方法を提言し、マスコミ等にも取り上げられている

※写真を一部修正（以下同）

⑤飲食店営業（すし店）



安達主事より、以下の説明を受けた。

- ・ 受動喫煙を防止する観点から店内全面禁煙の措置を講じており、港区から「みなとタバコ対策優良施設」の登録を受けている

⑥喫茶店営業



店内で、大塚参考人より、以下の説明を受けた。

- ・大手資本によるチェーンストア等の進出により競争が激化するなか、清潔で快適な雰囲気、消費者が安心して利用できる接客サービスの充実など、消費者の満足度の向上を図っている
- ・受動喫煙を防止する観点から、分煙対策を講じている
- ・以前、大手本社に隣接する場所で営業していた際は、顧客を取り込むため、営業時間を長くしていたが、客単価が低く経営的に厳しいことから、現在地に移転した

現地視察ルート

